

# 「せつぶん」って なあに？

1年 生活科  
「にほんのぎょうじ」  
読書指導

## ねらい

- 節分について行事のいわれや風習を知り、興味をもつことができる。
- 節分や鬼に関する本のブックトークと読みきかせを楽しむことができる。

## 学 習 展 開 . . . . .

- ① 2月3日は何の日か発表し、節分、豆まき、立春、オニの嫌いなもの等について生活経験をもとに話し合い、節分の風習などを知る。
  - ・「鬼は外、福は内」
  - ・大豆 ・鰯 ・柊 ・やいかがし
  - ・年の数だけ豆を食べる
  - ・翌日から春
- ② 大豆からできている食べ物を発表する。
- ③ 鬼が鰯と柊を嫌う理由を各自が体感する。
  - ・鰯の実物を臭ってみる
  - ・柊の葉をほおに当ててみる
- ④ 鬼のミニブックトークを聞く。
- ⑤ 「おにたのぼうし」の読みきかせを聞く。
- ⑥ 感想を発表し合う。



柊の葉先をほおに当てる児童

## ★指導のポイント

- ◆ 絵本だけでなく、鬼の面や大豆、鰯、柊などの実物を準備し、児童が触ったり、においを嗅いだりして、感覚を刺激できるように準備する。
- ◆ 2月3日の給食の献立にもふれ、大豆、鰯の食材が使われていることを確認する。
- ◆ 読み聞かせする絵本は、学級で読みきかせ済みの場合があるので、担任と相談の上、決定する。

## ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、ブックリストの作成や絵本の準備を行う。ミニブックトークを行う。
- 司書教諭は、担任と授業の進め方を相談し、大豆、鰯、柊などの実物を準備する。読みきかせを行う。
- 学校司書は、公共図書館からも本を借り、図書館内に「節分（鬼）コーナー」を設置する。

## 資料

『鬼といりまめ 二月』作：谷真介 絵：赤坂三好（佼成出版社）、『せつぶんだまめまきだ』作：桜井信夫 絵：赤坂三好（教育画劇）、『おにたのぼうし』作：あまきみこ 絵：岩崎ちひろ（ポプラ社）、『だいくとおにろく』再話：松居直 絵：赤羽末吉（福音館書店）『かえるのをんだととさん』作：日野十成 絵：斉藤隆夫（福音館書店）他